

2004年9月22日
 三菱ふそうトラック・バス株式会社
 コミュニケーションチーム

三菱ふそう 47案件の対応進捗状況報告

三菱ふそうが市場措置を予定している47案件の進捗状況等につき、下記の通りご報告申し上げます。

47案件のうち、市場措置が終っていない20件につきましては、9月下旬までに届出予定が5件、10月下旬までが15件となります。

記

・今週の報告事項

(1) 47案件の現在までのリコール等届出状況

()は前回の会見の数字

・[資料1]をご参照下さい。

	～9月21日	9月22日	～9月下旬	～10月下旬	合計
リコール	18 (13)	8 (5)	4 (11)	15 (15)	45 (44)
改善対策	1 (1)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	2 (3)

・本日、以下7件のリコール届出を済ませ、47案件累計で27件のリコール・改善対策の届出を完了いたしました。

<47案件>

No.17	小型バス	非常ドアの開放
No.46	小型バス	荷物扉開放
No.28	大・中型トラック、大・中型バス	フロントハブベアリング焼付き
No.29*	中型トラック・バス	フロントハブベアリング焼付き
No.30*	中型トラック・バス	ハブ破損(ベアリング破損による二次不具合)
No.32	大型トラック・バス	インジェクションポンプラックの破損
No.41	小型トラック	ナックルアームボールスタッド折損
No.47	大・中・小型バス	急ブレーキ時の非常扉シート倒れ

・なお、上記の「No.17 小型バス 非常ドアの開放」との「No.46 小型バス 荷物扉の開放」につきましては、No.46を改善対策からリコールにし、今回1件にまとめて届出を行いました。

*上記の「No.29 中型トラック・バス フロントハブベアリング焼付き」の届出に伴い、「No.30 ハブ破損(ベアリング破損による)」は副次的な扱いとされ、No.30自身としての対策届出は不要となりました。

・なお、届出件数に関しては、上記及び先週の1件をまとめ現時点で、44件になる見込みです。

<通常リコール>

上記 47 案件以外の通常リコールとして以下 2 件の届出が完了しました。

- ・大型トラック・バス エンジンハーネスの損傷
- ・大型トラック エアサスペンション V ロッド不具合

(2) 今後 2 週間以内に届出が完了する項目

- ・ [資料 2] をご参照下さい。
- ・ 今回新たに下記 4 件の案件を追加しました。

No. 2	大型トラック	プロペラシャフト破損
No. 4	大型バス・トラック	駐車ブレーキスプリング破損
No. 8	中・小型トラック、小型バス	駐車ブレーキケーブル破損
No.21	大型バス・トラック	ホイールパークウエッジ破損

(3) 届出済み市場措置の状況(9 月 1 8 日現在)

- ・ [資料 3] をご参照下さい。
- ・ 大型トラック・バスのフロントハブ不具合対策は、恒久対策実施率が **5 4 . 4 %** 暫定対策が **1 9 . 1 %** となりました。尚、全体の実施率は、**7 3 . 6 %** となりました。
- ・ 大型トラックのクラッチハウジング不具合暫定対策は、9 月 1 8 日現在 **9 5 . 0 %** になりました。
- ・ 緊急点検台数は前回比約 1 . 4 万台増の約 2 0 . 2 万台、無料点検台数は同約 1 . 6 万台増の約 2 9 . 0 万台になりました。

(4) 6 / 1 4 以降の事故案件について

- ・ [資料 4] をご参照下さい。
- ・ 9 月 1 1 日に神奈川県川崎市で発生しました中型トラックの追突事故、及び 9 月 1 4 日に島根県益田市で発生しました大型トラックの車両火災につきまして、9 月 1 7 日にスクランブル調査を実施致しました。

(5) 大型車クラッチハウジングリコール届出以降の重要不具合 (破断発生状況)

- ・ [資料 5] をご参照下さい。
- ・ 前回報告時点からの重要不具合はございません。

以上

対策実施予定の47案件一覧

2020.9.22

リコーラー一覧

三菱ふそうトラック・バス株式会社

1:UJ-B層出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありません。
 2:UJ-B層出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありません。
 3:UJ-B層出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありません。
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
1	クラッチハウジング破損	大	ザ・グレート、スーパーグレート	83/6～99/4	168,002	3	15	3	5/26	大型トラックのエンジンと変速機(トランスミッション)の結合部(クラッチハウジング)の剛性が不足しているものがあり、また、トランスミッション・メーンシャフト後部のスプライン部と継ぎ手(アウトプットフランジ)の噛み合い部分の隙間が不適切なため、当該隙間が経年変化などで増大すると、高速走行時の駆動系振動が大きくなり、クラッチハウジングに亀裂が生じるものがある。また、クラッチハウジングに錆進時の傷などがある場合、この亀裂の発生が早まる可能性がある。このため、そのままの状態で使用続けると亀裂が進行し、最悪の場合、クラッチハウジングが破断してトランスミッション又はプロペラシャフトが脱落、又は周辺部品を破損させ二次的不具合を生じるおそれがある。
2	大型トラックプロペラシャフト破損	大	ザ・グレートスーパーグレート、F5、FY	91/9～02/8	15,938	0	6	0	10月上旬	リコーラー実施後の車両においてタンデムプロペラシャフトを取付けているリヤリヤデフのキャスルナットがゆるんで、最悪の場合ナットが外れプロペラシャフトが脱落する。
3	バス プロペラシャフト破損	大	エアロQueen、エアロバス	91/12～02/4	266	0	2	0	6/15	流体式リターダ(補助制動装置)を装着した大型バスにおいて、プロペラシャフト接続部(エンドヨーク)の構造が不適切なため、エンドヨークに設けてある十字継手(スパイダ)のベアリング抜け出し防止用のストッパーが発進停止の繰り返しにより摩耗する、又はプロペラシャフト組立て時に損傷する場合がある。そのため、そのままの状態で使用続けると、ベアリングにガタを生じてプロペラシャフトが過大に振動し、最悪の場合、ベアリング固定金具又は取付ボルトが折損して、プロペラシャフトが脱落するおそれがある。
4	駐車ブレーキスプリング破損	大	9389517ロQueen、915893ザ・グレートFU4、FR4、エアロハフレキ、エアロハフレキ付車	92/12～98/7	2,917	0	0	0	10月上旬	スプリングが腐食して折損した場合、下記 又は の現象が発生。スプリング折損により駐車ブレーキ能力が低下する。走行中に駐車ブレーキが効き始める。折損したスプリングでダイヤフラムが傷ついた場合、エア洩れが生じて、駐車ブレーキが解除できなくなる。
5	フロントサスペンションボールジョイント摩耗	小	キャンター、ローザ(フロント独立懸架車)	93/11～98/12		0	0	0	10月下旬	ボールジョイントの樹脂ベアリングが摩耗してガタが発生し、そのままの状態で使用するとボールジョイントの金属ケースが損傷し、最悪の場合、ボールジョイントがサスペンションアームから外れ、走行不能になるおそれがあります。
6	タイロッドボールジョイント摩耗	小	キャンター、ローザ(フロントリジッドアクスル車)	93/11～98/7		0	0	0	10月下旬	タイロッドエンドのボールジョイントが摩耗して、走行中ハンドルに振動を感じることがあり、そのままの状態で使用をつづけると、最悪の場合ボールジョイントがタイロッドから外れ、走行不能になるおそれがあります。
7	燃料タンクブラケット破損	小	キャンター	97/2～02/5	418	0	0	0	6/15	燃料タンク取付金具の寸法精度並びに燃料タンクを取付金具にボルトで締結する部分の構造及び当該ボルトの締付けトルクが不適切なため、走行中の振動等により当該ボルト又は取付金具をフレームに固定するボルトに緩みが発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、燃料タンクに亀裂が発生し、燃料漏れが発生するおそれがある。また取付金具に亀裂が発生し、最悪の場合、当該取付金具が破損し燃料タンクが脱落するおそれがある。
8	駐車ブレーキケーブル破損	中	ファイター、キャンター、ローザ	93/9～01/5	367,834	2	1	0	10月上旬	駐車ブレーキのケーブルが、T/M後部のセンターブレーキとの係合部で折損し、駐車ブレーキが効かなくなるおそれがあります。
9	パワーステアリングサーキュレータ破損	小	キャンター	93/10～97/2	15,227	0	0	0	7/28	パワーステアリングギヤボックス 内部のボール循環環(サーキュレータ)の構造が不適切なため、過大な操舵入力に対する強度余裕が不足している。そのため、タイヤが縁石に接触している状態でハンドル操作を繰り返すと、当該サーキュレータが破損し、最悪の場合、操舵不能となるおそれがある。
10	デッドアクスルハブベアリング焼付き	大	ザ・グレート、スーパーグレート、FU車(除く25t)	89/9～00/3	31,255	0	0	13	8/25	後後軸(デッド軸)のハブ内部に水が浸入しハブベアリングが焼付き、タイヤのバーストや最悪の場合車両火災に至る恐れがある。
11	フロント独立懸用アームシャフト	大	大型バスMS72、MU515.525、中型バスMM526.527	82/12～95/8		0	0	0	10月下旬	前輪独立懸架装置のアップ・ロアアームに亀裂が発生し、このままの状態で使用続けると最悪の場合アップ・ロアアームが折損し走行不能・操舵不能になるおそれがある。
12	T/M ニードルベアリング焼き付き	大	スーパーグレート、大型バス	00/3～02/12		0	0	0	10月下旬	3rd.4thのニードルベアリングの焼付きにより、T/M操作不能、ギヤ入り不良、ギヤ抜け、異音が発生する。
14	キャブフックかかり不良	中	ファイター、FK、FL、FM、FN(手動チルト車)	92/6～98/9	91,535	1	1	0	9/1	フックコントロールレバーが下がりがり切らない位置でチルト操作をすると、フックとシャシ部品が干渉してフックが変形し機能しないおそれがあります。最悪の場合、急制動時フックが外れキャブが前に倒れるおそれがあります。
15	リヤリヤスプリングのハンガーブラケットからの脱落	大	ザ・グレート、スーパーグレート、FUトラニオンサスペンション車	94/12～01/6	14,347	1	1	0	9月下旬	FUトラニオンサスペンション車において、高重心の積載をした状態で急な旋回をした時に、旋回内側の後々軸リヤスプリングアクスル側ブラケットのリバウンド押さえの爪部から外れることがある。

1:10-11届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありません。
 2:11-12届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありません。
 3:13-14届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありません。
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
16	リヤアクスルチューブ破損	大ト	ザ・グレート、 スーパーグ レートの低床車 FN4,FS4,FS5,F Y5	83/7～98/12		0	0	0	10月下旬	リヤアクスルチューブがアクターヘアリング部付近で折損し、走行不能になるおそれがある
17	非常ドアの開放	小バ	ローザ BE6, BG6 (非常口付車)	97/10～04/6	3,666	0	0	0	9/22	走行中に非常扉の警報ブザーが鳴ることがありそのままの状態で行った場合、非常扉開放の恐れがある。
18	ABS/EZGO ハイドロリックユニット不具合	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (ABS/EZGO, A BS/EZGO/ASR 装着車)	99/3～99/10	3,283	0	0	0	9月下旬	ブレーキの油圧を制御するハイドロリックユニット(HU)内部の故障により、ブレーキペダルのストロークが増加し、制動力が低下するおそれがあります。
19	スプリングブレーキエアチャンバーブラケット破損	中ト	ファイター	99/5～02/2	108	0	0	0	7/14	後2軸車において、後軸輪のスプリング式駐車ブレーキチャンパー取付金具(ブラケット)の強度が不足しているため、走行中の振動等により当該ブラケットに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、当該ブラケットが破損し駐車ブレーキ能力が低下して、最悪の場合、チャンパーが脱落し、当該後軸輪の駐車ブレーキが作動不能になる、又は、エアホースが損傷してエア漏れを生じるおそれがある。
20	スプリングブレーキチャンパーへの水侵入	中ト 中バ	ファイター エアロミディ	99/3～00/6	1,760	0	0	0	7/14	スプリング式駐車ブレーキ装着車において、チャンパー本体とホイールシリンダとの接続部のシール材の塗布が不適切なため、チャンパー及びホイールシリンダ内に水が浸入することがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、ホイールシリンダ内部及びウェッジが錆びついて破損し、あるいは、冬期に凍結し、駐車ブレーキが作動不良となるおそれがある。
21	ホイールパークウェッジ破損	大ト 大バ	エアロクイーン、エアロ バス、スーパーグ レート	92/12～98/7	2,915	0	0	0	10月上旬	駐車ブレーキ用ウェッジ部が破損し、駐車制動力が低下する。(ウェッジ部破損輪のみ)
22	ホイールパークウェッジ破損	大ト 大バ	大型バス 98MS8,スーパー グレートH98FU5 フック式ホイール パーク仕様車 (FUはオプション)	97/12～98/12	552	0	0	0	7/14	スプリング式駐車ブレーキ装着車において、ブレーキシューを拡張するウェッジロッド先端部のローラに熱処理が不適切なものがある。そのため、当該ローラが早期に破損して、最悪の場合、駐車ブレーキが作動不良となり、駐車制動力が低下するおそれがある。
23	ハイドロリックブースタへのエアの混入	小ト	キャンター (ハイドロリック ブースタ装着 車)	99/3～04/5	9,018	2	2	0	7/21	ハイドロリックブースタASSYの故障により、フロントブレーキオイルラインにエアが混入し、徐々にペダルのストロークが増加して、制動力が低下するおそれがあります
24	プロペラシャフト脱落	大ト	スーパーグ レートの FV514HR (M130S2×5 T/M搭載車) FV540HR	精査中		0	0	0	10月中旬	後前軸インプット部エンドヨークを止めるキャッスルナットが緩み、プロペラシャフトが脱落する。
25	チェントランスファオイル洩れ	中バ	中型バス MK126(T- Drive)初号～ 93MJ (84/12 ～93/9生産車)	84/12～93/9		0	0	9	10月中旬	連続高速走行時チェントランスファー内油温が上昇し、ブリーザーからオイルが噴出することがあり、最悪の場合、火災に至るおそれがある。
26	フライホイールリングギアの磨耗と破損	大バ	大型バス MP3(6M7)	00/5～04/5	2,052	0	0	2	9/15	リングギアにスターバネが引っ掛かり、スターバネが回転しなくなる。(エンジン始動不良)この状態でスタータON操作を繰り返した場合は、スタータリネットスイッチコイルがショートし、スタータとスタータリネ間のハーネスに大電流が流れ、スタータハーネスが焼損する恐れがある。
27	フロントハブベアリングへの水侵入	小ト	キャンター (フロント独立 懸架車)	02/5～04/3	35,395	0	0	0	9/15	フロントハブインナーベアリングの発錆・損傷によりフロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動、またはガタが発生し、最悪の場合、走行不能となるおそれがあります。
28	フロントハブベアリング焼き付き	大ト 中ト 大バ 中バ	スーパーグ レート、中型ト ラック、大型バ ス、中型バス	00/3～04/9	56,229	0	1	9	9/22	フロントハブアウトベアリングに焼付きが発生する
29	フロントハブベアリング焼き付き	中ト 中バ	ファイター、エ アロミディ	02/5～04/9	33,990	0	0	1	9/22	フロントハブベアリングの焼き付きにより、フロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動またはガタが発生し、走行不能となるおそれがあり、最悪の場合、脱輪のおそれがあります。
30	ハブ破損(ベアリング破損による)	中ト 中バ	ファイター、エ アロミディ			0	0	0	9/22	フロントハブベアリングの焼き付きにより、フロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動またはガタが発生し、走行不能となるおそれがあり、最悪の場合、脱輪のおそれがあります。

1:U-M届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した事種ですが今後変更もありえます。
 2:U-M届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありえます。
 3:U-M届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありえます。
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
31	A/T オイルホース破損	中	ファイター (3速オートマチックトランスミッション車)	92/9 ~ 03/1	1,771	0	0	1	9/15	A/T油温上昇によりA/Tオイルクーラホースが破損して、オイルもれが発生し、最悪の場合、車両火災に至るおそれがあります。
32	インジェクションポンプの破損	大 大 大	大型トラック・ グレート: FU,FV,FS 他 大型バス I700 イーン:MS	94/11 ~ 96/7	5,160	0	0	12	9/22	噴射ポンプのコントロールラックが折損し、エンジンが吹け上がる。
33	キャブ電源ハーネスの損傷	大	スーパー グレート FU,FV,FT,FS他	96/4 ~ 03/11	53,760	0	0	0	9/1	キャブ前面の電源ハーネスの被覆が損傷・断線し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある
34	燃料パイプクランプの脱落	小 小 中	ファイター:FK キャン ター:FE,FF,FG I700イーン:ME, ローザ:BE,BG	99/3 ~ 04/8	71,557	0	0	35	9月下旬	噴射管クランプが脱落し、スタータ電源に配線されているS端子付近に落下する可能性があり、その場合、エンジン始動時、あるいは始動直後の走行時にショートしてスタータハーネス等から発煙し、最悪の場合、発火するおそれがあります。
35	ターボエンジン用の箱型マフラーの亀裂	大	スーパー グレート の FV-R,FP-R (8M22T, 6M70T搭載車)	00/3 ~ 03/1	739	0	0	5	9/15	箱型マフラーのドラム部栓溶接部より亀裂し、高温の排気ガスが洩れるおそれがある。
36	エンジンリヤマウント破損	大	スーパー グレート: FU,FV,FT,FS 他	00/1 ~ 04/8	28,651	0	1	0	9/29	エンジンリヤマウントラバーの金具とラバーの際に亀裂が発生し、最悪の場合、エンジンリヤマウントラバーが破損して、エンジン、トランスミッションが搭載位置からずれるおそれがある。
37	A/T油温上昇	中	ファイター (3速オートマチックトランスミッション車)	92/9 ~ 97/8	967	0	0	0	9/15	A/T油温の上昇によりA/T内部の部品に異常が生じ、走行中に変速不能となったり、発進不能となるおそれがあります。
38	アクスルシャフト破損	大	ザ・グレート FT	83/7 ~ 95/4		1	0	0	10月中旬	急発進等でリヤアクスルシャフトに急激な力が繰り返し加わると、最悪の場合、リヤアクスルシャフトが亀裂破損する
39	ナックルアーム破損	小 小 小	キャンター, ローザ (パワーステア リング装着車)	85/10 ~ 89/3		0	0	0	10月下旬	ナックルアームに亀裂が発生し、そのままの状態で使用を続けると最悪の場合ナックルアームが折損し走行不能・操舵不能になるおそれがあります。
40	キャブハーネス不具合によるスタータ破損	小	キャンター	95/3 ~ 96/12	36,787	0	1	0	8/4	キャブ内中央付近インハネ内で、ワイパー作動時にワイパーリンクとハーネスが干渉し、ハーネスがショートして電装品の作動に異常(ワイパー作動時、ウォーニングランプ点灯やスタータが回るなど)をきたすおそれがあります。

1:13~18届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありえます。
 2:13~18届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありえます。
 3:13~18届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありえます。
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
41	ナックルアームボールスタッド折損	小ト	キャンター:FE	89/10~91/5	34,837	0	0	0	9/22	ナックルアームのボールスタッドの強度余裕が不足しているため、据切りの多用や操舵頻度の高い走行を繰り返すと、当該ジョイントに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合ボールスタッドが折損して操舵不能となるおそれがある。
42	排気パイプ亀裂	大バ	大型バス93モデル MS8 大型バス95モデル MS8, MU6	92/10~96/8		0	0	1	10月下旬	排気フロントパイプが亀裂し、同パイプ上側にあるハーネスを溶損する可能性がある。
43	T-ドライブシステム脱落	中バ	中型バスMK (T-ドライブ車) 中型バスMJ全車	85/4~95/8		0	0	0	10月中旬	走行中に車体後部から異常振動・異音が発生する。そのまま走行し続けた場合、トランスバースギヤボックスインプット部コンパニオンフランジのガタが増大し、フライホイールハウジングのトランスバースギヤボックス取付部が破損する恐れがある。
44	T/M シフトワイヤ折損	小ト	キャンター	99/3~00/7	8,171	0	0	0	8/4	シフトワイヤを中間で固定するクランプに取付け角度の不適切なものがあり、それによりワイヤの曲げ(R)が小さくなり、最悪の場合、シフトワイヤが折損するおそれがあります。
46	荷物扉開放	小バ	ローザ BE6, BG6 (観音扉付き車)	97/10~02/3	1,077	0	0	0	9/22	走行中にキャッチからロックが外れ、観音扉が開放する恐れがある。
47	急ブレーキ時の非常扉シート倒れ	大バ 中バ	大型バスMS7,8 MP2,6,3,7 中型バスMJ (路線) MK MM3,8 ME	74/7~04/6	51,943	5	0	0	9/22	急ブレーキ時にバランスを崩した乗客が非常口横のシート(前転倒式)の背もたれにつかまると、シートのストッパーが外れ、シートが前に倒れる。

改善対策一覧

13	キャブチルト警告灯不良	大ト 中ト	(大ト)グレート、スーパークレート FU,FV,FP,FT,FW (中ト)ファイター FK,FL,FM,FN (手動チルト車)	83/8~99/11	246,862	0	0	0	9/1	キャブチルトロックが解除しているにもかかわらず、キャブチルトウォーニングランプが点灯しないおそれがあります。
45	AT車のPレンジ不良	小ト 小バ	キャンター、ローザ (オートマチックトランスミッション装着車)	90/11~01/9		0	3	0	9月下旬	レンジセレクターレバーをP-レンジにシフトして急坂路に駐車した時、オートマチックトランスミッション内のP-レンジギヤが機能しないことがあり、駐車ブレーキが引かれていない場合、あるいは引きが不十分な場合、車両が動き出すおそれがあります。

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

資料2

2004.9.22

今回追加の案件
47項目

(1/6)

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	実在登録 台数	届出予定日
2	大型トラック プロペラシャフト破損	リコール	大型トラック サ・グレート, スーパ・グレート:FS,FY	15,938台 '91/09 ~ '02/08	14,446	10月上旬
4	駐車ブレーキスプリング破損	リコール	大型トラック サ・グレート:FU,FR 大型バス エアロQueen:MS	2,917台 '92/12 ~ '98/07	精査中	10月上旬
8	駐車ブレーキケーブル破損	リコール	中型トラック ファイター:FK 小型トラック キャンター:FC,FE,FF,FG 小型バス ローザ:BE,BG	367,834台 '93/09 ~ '01/05	精査中	10月上旬
21	ホイールパークウェッジ破損	リコール	大型トラック サ・グレート:FU 大型バス エアロQueen:MS	2,915台 '92/12 ~ '98/07	精査中	10月上旬

先週までに発表した届出予定案件

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	実在登録 台数	届出予定日
15	リヤリーフスプリングのハンガー ブラケットからの脱落	リコール	大型トラック サ・グレート, スーパ・グレート:FU	14,347台 '94/12 ~ '01/06	13,769	9月下旬
18	ABS/EZGO ハイドロユニット不具合	リコール	小型トラック キャンター:FE,FF,FG 小型バス ローザ:BE,BG	3,283台 '99/03 ~ '99/10	3,148	9月下旬
34	燃料パイプクランプの脱落	リコール	中型トラック ファイター:FK 小型トラック キャンター:FE,FF,FG 小型バス エアロミティ:ME,ローザ:BE,BG	71,557台 '99/03 ~ '04/08	69,988	9月下旬
36	エンジンリヤマウント破損	リコール	大型トラック スーパ・グレート:FU,FV,FT,FS 他	28,651台 00/01 ~ 04/08 99/08 ~ 03/02	28,321	9月29日

注:台数・生産期間については国土交通省殿との調整により変更も有り得ます。

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

資料2

2004.9.22

<ご参考> 本日届出の案件

(2/6)

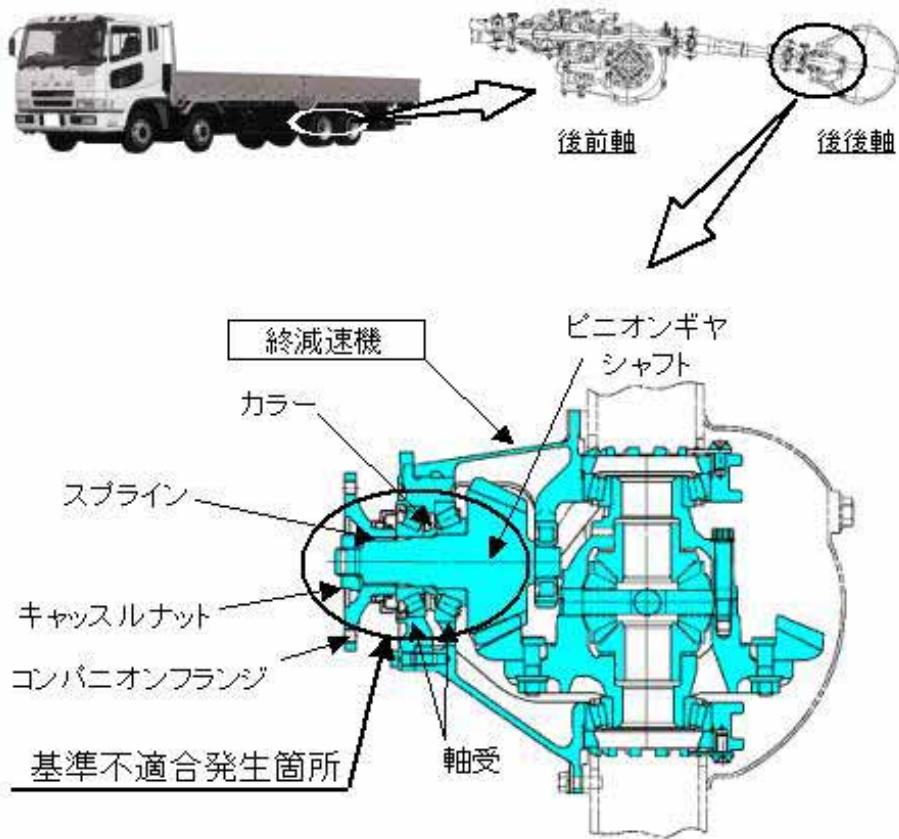
No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	実在登録 台数	届出日
17	非常ドアの開放	リコール	小型バス ローザ: BE6, BG6	3,666台 97/10 ~ 04/06	3,568	9月22日
46	荷物扉開放	リコール 改善	小型バス ローザ: BE6, BG6	1,077台 97/10 ~ 02/03	1,052	9月22日
28	フロントハブベアリング焼付き	リコール	大型トラック スーパーグレート: FU, FV, FT, FS 他 中型トラック ファイター: FK, FM, FN, FQ 大型バス アロキング, アロクイーン, アロスター : MU, MS, MP 中型バス アロミティ: MM	56,229台 56,476台 '00/03 ~ '04/09	53,183	9月22日
29	フロントハブベアリング焼付き	リコール	中型トラック ファイター: FH, FK 中型バス アロミティ: MJ, MK	33,990台 34,531台 '02/05 06 ~ '04/09	32,177	9月22日
32	インジェクションポンプラックの破損	リコール	大型トラック サーパーグレート: FU, FV, FS 他 大型バス アロクイーン: MS	5,160台 5,161台 94/11 ~ 96/07	4,854	9月22日
41	ナックルアームボールスタッド折損	リコール	小型トラック キャプター: FE	34,837台 34,849台 89/10 ~ 91/05	16,561	9月22日
47	急ブレーキ時の非常扉シート倒れ	リコール	大型バス アロキング, アロクイーン, アロスター : MU, MS, MP, MM 中型バス アロミティ: MK, 小型バス アロミティ: MJ, ME	51,943台 '74/07 ~ '04/06	28,681	9月22日
-	エンジンハーネスの損傷	リコール	大型トラック スーパーグレート: FU, FV, FT, FS 他 大型バス アロクイーン: MS, アロスター: MP 他	21,427台 '98/07 ~ '04/02	21,149	9月22日
-	エアサスペンション Vロッド不具合	リコール	大型トラック スーパーグレート: FU, FV, FT 他	4,454台 '03/05 ~ '04/04	4,305	9月22日

他案件(29)の届出と同時に市場措置の届出が不要になる案件

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	実在登録 台数	届出日
30	ハブ破損(ベアリング破損による)	リコール	中型トラック ファイター: FH, FK 中型バス アロミティ: MJ, MK	-	-	-

注: 台数・生産期間については国土交通省殿との調整により変更も有り得ます。

リコール	2 タンデムプロペラシャフト脱落 (大型トラック)	生産15,938台 '91/09 ~ '02/08	实在登録台数 14,446台
------	------------------------------	------------------------------	-------------------



低床式後2軸駆動車の動力伝達装置において、後前軸と後々軸間の推進軸の継手(コンパニオンフランジ)の締付けが不適切なため、後々軸ピニオンギヤシャフトのスプライン部又は軸受間のカラーに摩耗が生じ、軸受が損傷、又はキャスルナットに緩みが生じるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、コンパニオンフランジが抜け出し、又はピニオンギヤシャフトが折損し、最悪の場合、後前軸と後々軸間の推進軸が脱落して走行不能となるおそれがある。

改善内容

全車両、終減速機一式を良品に交換する。
本届出は平成15年1月23日付け「届出番号910」のリコール届出に対し、対策措置指示が不適切であったため、対策内容及び対象範囲を見直し、再度対策を行うものである。

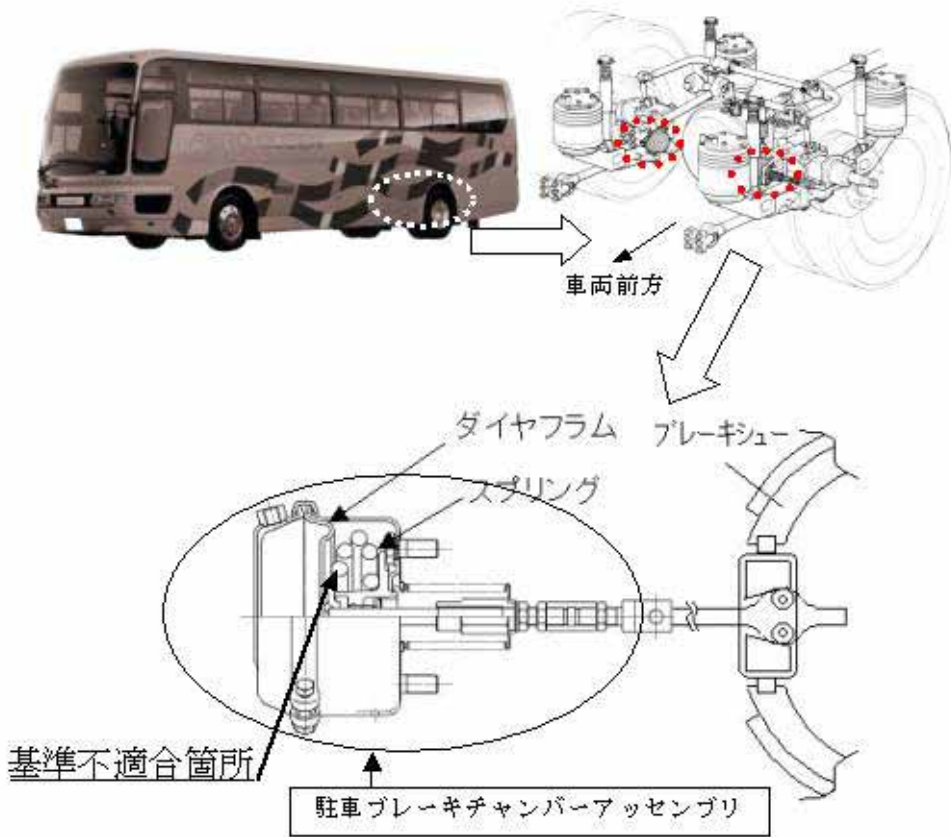
'04年9月17日現在

商品情報 連絡書件数 〔初回情報〕 〔03/09月〕	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
27	0	6	0	無し

: 6/14会見時は商連書10件、物損3件('04年3月31日カットオフ)と発表したが、'04年4月1日以降の件数変動等を精査の結果、物損3件を含む17件を今回追加。

注1. は、交換部品を示します。
2. 記載内容は国交省届出時点に変更となる場合があります。

リコール	4 駐車ブレーキスプリング破損 (大型バス・トラック)	生産2,917台 '92/12~'98/7	实在登録台数 (精査中)
------	--------------------------------	--------------------------	-----------------



スプリング式駐車ブレーキ装着車において、スプリング格納チャンバー内部寸法、ならびに同台座形状不適切のため、駐車ブレーキ開放時にスプリング同士又はスプリングとチャンバー本体が干渉し、スプリングの塗装が剥がれ、錆びが発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、スプリングが折損し、駐車ブレーキの効きが悪くなるおそれがある。又は、折損したスプリング端部でダイヤフラムが損傷すると、エア洩れが発生し、駐車ブレーキが解除できなくなるおそれがある。

改善内容

全車両を対策品に交換する。

商品情報 連絡書件数 〔初回情報〕 〔95/1月〕	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
68	0	0	0	無し

：6/14会見時は商連書66件と発表したが、その後2件の商連書を入手したため今回追加。

注1. は、交換部品を示します。

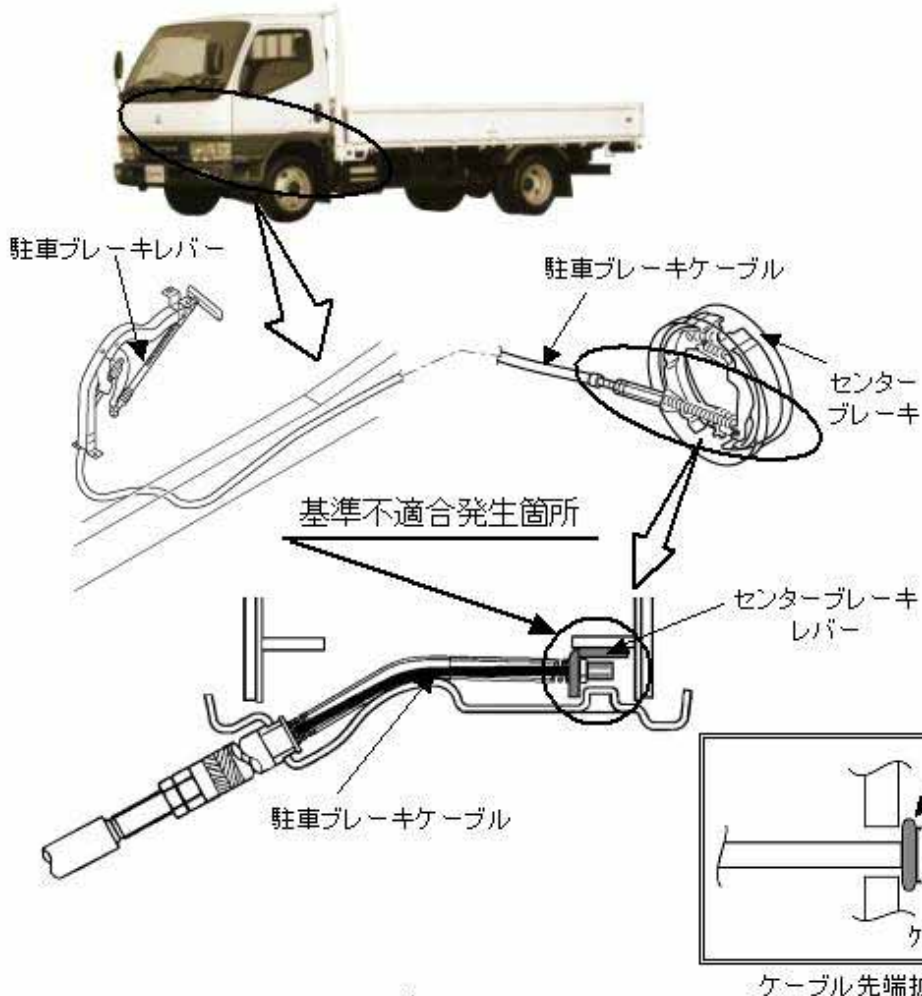
2. 記載内容は国交省届出時点で変更となる場合があります。

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

資料2

(5/6)

リコール	No.8 駐車ブレーキケーブル破損 (小型トラック・バス、中型トラック)	生産 367,834台 '93/09 ~ '01/05	实在登録台数 精査中
------	---	--------------------------------	---------------



駐車ブレーキケーブルのセンターブレーキ側先端形状が不適切なため、ケーブル調整時に、ケーブルエンドがセンターブレーキレバー溝部に引っ掛り、そのままの状態で使用すると、ケーブル先端が屈曲、疲労切損し、最悪の場合、駐車時に制動力が確保できなくなるおそれがある。

改善内容

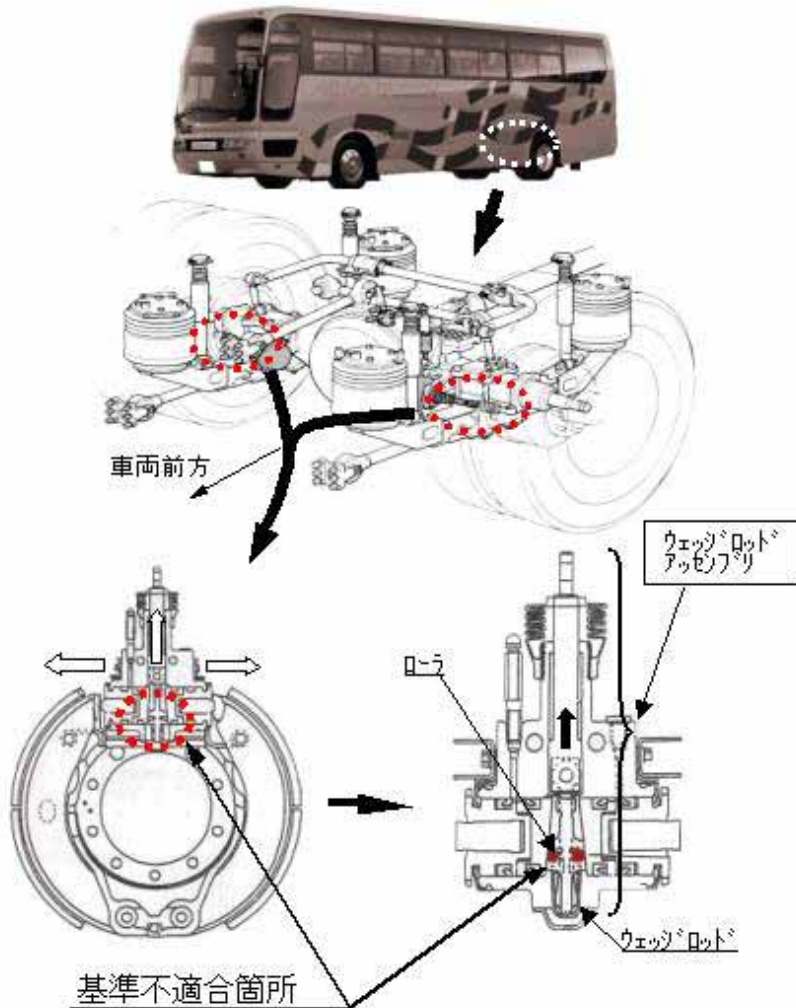
全車両、駐車ブレーキケーブルのセンターブレーキ側先端部にリテーナを追加する。なおケーブルに損傷のある場合は対策品と交換する。

商品情報 連絡書件数 (初回情報 96/10月)	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
16	2	1	0	無し

: 6/14会見時は商連書14件(04.03.31カット外)と発表したが、4/1以降に2件(人身事故1件、物損事故1件)発生したため今回追加

注1. □ は、追加部品を示します。
2. 記載内容は国交省届出時点で変更となる場合があります。

リコール	21 ホイールパークウェッジ破損 (大型バス・トラック)	生産2,915台 '92/12~'98/7	实在登録台数 (精査中)
------	---------------------------------	--------------------------	-----------------



スプリング式駐車ブレーキ装着車において、ブレーキシューを拡張するウェッジロッド先端部のローラに熱処理が不適切なものや、構成部品の組付け不良により、ウェッジロッドが破損して、最悪の場合、駐車ブレーキが作動不良となり、駐車制動力が低下するおそれがある。

改善内容

全車両、駐車ブレーキウェッジローラーを点検し、ローラーが変形あるいは破損している場合は駐車ブレーキウェッジロッドを対策品と交換する。

商品情報 連絡書件数 〔初回情報〕 93/08月 ²	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
42 ¹	0	0	0	有り ² (96/07月)

1: 6/14会見時は商連書46件と発表したが、その後の再確認の結果、ダブルカウント1件、および7/14届出リコールNo.22の分3件が本件に混入されていた為本合計4件を今回修正。

2: 指示改修有無: “無し” “有り”

(22と取り違えて公表, 22は訂正して7/14日に届出済)
初回情報 : 96/12月 93/08月

注1. は、交換部品を示します。

2. 記載内容は国交省届出時点で変更となる場合があります。

2004.9.22

三菱ふそうトラック・バス(株)

8: 駐車ブレーキケーブル破損の人身事故内容

	型式	不具合 発生日	登録日	走行距離 (km)	発生時の状況	発生場所
1	FE567B	平成 15 年 2 月 3 日	平成 10 年 9 月 29 日	53,024	ゴミ回収時に車両停止後、駐車ブレーキを引き降車、輪止め設置を行なおうとした時に”ガチャ”音と共に車両が動き出した。運転手がガードレールへ接触させたが止まらず30m程下った付近で運転手が骨折。その後車両は右フロント車輪が側溝へ脱輪、キャビン右側面を壁に衝突し停車。	神戸市 北区
2	FE668EV	平成 16 年 9 月 13 日	平成 9 年 3 月 25 日	318,000	新潟県新発田市内ホテル横の下り道路で乗用車を積載する際に、ユーザがキャリアカの荷台に乗って車両を荷台に固定中に駐車ブレーキケーブルが折損し、30 ほど後退してホテルの石垣に衝突して停車した。荷台で作業中のドライバーが頭と肩を荷台にぶつけ、3 週間の安静加療を要すと診断された。	新潟県 新発田市

以上

市場措置実施状況 (9月18日現在)

(1/2)

1. 大型トラック・バス ハブ関係の実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況					
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数 (04年8月末現在)	暫定措置		恒久措置		合計	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型トラック・バス フロントハブ不具合対策リコール (04年3月24日・1056)・(04年4月22日・1076)	217,407 ('83年7月11日 ~ '03年2月3日)	102,852	19,678 (19,686)	19.1% (19.0%)	55,985 (55,834)	54.4% (53.8%)	75,663 (75,520)	73.6% (72.7%)
2	大型トラック・バス リヤハブ不具合暫定対策リコール (04年4月15日・1072)	21,769 ('89年8月31日 ~ '92年11月6日)	9,937	5,614 (5,504)	56.5% (54.7%)	—	—	5,614 (5,504)	56.5% (54.7%)
3	大型トラック25トン車 フロントハブ不具合対策リコール (04年8月19日・1204)	2,617 ('94年11月12日 ~ '96年3月5日)	2,353	7 (4)	0.3% (0.2%)	232 (125)	9.9% (5.3%)	239 (129)	10.2% (5.5%)

・()内数値は、9月11日時点の数値を示す。

2. 対策が必要な47案件の市場措置実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数 (04年7月末現在)	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型トラック クラッチハウジング不具合対策リコール (04年5月26日・1092)	168,002 ('83年6月2日 ~ '99年4月27日)	72,612	68,962 (68,565)	95.0% (94.4%)	精査中	精査中
2	キャンター (ル-トバン仕様車)燃料タンク不具合対策リコール (04年6月15日・1083)	418 ('97年2月28日 ~ '02年5月31日)	390	—	—	256 (242)	65.6% (62.1%)
3	MS8流体式リタ-ダ装着車プロペラシャフトエンドヨーク不具合対策リコール (04年6月15日・1111)	266 ('91年12月21日 ~ '02年4月10日)	264	30 (31)	11.4% (11.7%)	79 (76)	29.9% (28.8%)
4	MS8・FU5 スプリング式駐車ブレーキ ウェッジ不具合対策リコール (04年7月14日・1112)	552 ('97年12月12日 ~ '98年12月21日)	548	214 (208)	39.1% (38.0%)	43 (35)	7.8% (6.4%)
5	ファイター スプリング式駐車ブレーキチャンパー不具合対策リコール (04年7月14日・1166)	108 ('99年5月12日 ~ '02年2月14日)	107	42 (39)	39.3% (36.4%)	5 (2)	4.7% (1.9%)
6	ファイター・エアロミディー スプリング式駐車ブレーキチャンパー不具合対策リコール (04年7月14日・1167)	1,760 ('99年3月10日 ~ '00年6月14日)	1,723	520 (395)	30.2% (22.9%)	13 (7)	0.8% (0.4%)
7	キャンターブレーキライン不具合対策リコール (04年7月21日・1168)	9,018 ('99年3月31日 ~ '04年5月12日)	8,817	2,686 (2,438)	30.5% (27.7%)	82 (71)	0.9% (0.8%)
8	キャンター ステアリングギヤ ボックス不具合対策リコール (04年7月28日・1176)	15,227 ('93年10月25日 ~ '97年2月13日)	12,418	2,405 (2,162)	19.4% (17.4%)	3 (1)	0.02% (0%)
9	キャンター キャブハーネスワイパーリンク干渉不具合対策リコール (04年8月4日・1198)	36,787 ('95年3月14日 ~ '96年12月25日)	31,409	—	—	3,500 (2,737)	11.1% (8.7%)
10	キャンター トランスミッションコントロールケーブル不具合対策リコール (04年8月4日・1199)	8,171 ('99年3月24日 ~ '00年7月30日)	7,929	1,805 (1,696)	22.8% (21.4%)	625 (490)	7.9% (6.2%)
11	大型トラック 後後軸(非駆動軸)ハブベアリング不具合対策リコール (04年8月25日・1208)	31,255 ('89年9月26日 ~ '00年3月16日)	18,177	8,970 (8,817)	49.3% (48.5%)	0 (0)	0.0% (0%)
12	中型トラック キャブフック不具合対策リコール (04年9月1日・1209)	91,524 ('92年6月29日 ~ '98年9月29日)	75,693	15,208	20.1%	0	0.0%
13	大型トラック キャブ全面ハーネス不具合対策リコール (04年9月1日・1210)	53,717 ('96年4月24日 ~ '04年7月19日)	52,009	17,401	33.5%	0	0.0%
14	大型トラック・中型トラック キャブチャイルド警告灯不具合改善対策 (04年9月1日・261)	246,852 ('83年8月27日 ~ '99年11月30日)	142,425	19,808	13.9%	0	0.0%

2. 対策が必要な47案件の市場措置実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数 (04年7月末現在)	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
15	キャンター フロントハブベアリング不具合対策リコ-ル (04年9月15日・1221)	35,395 ('02年5月24日~'04年3月11日)	34,840	9,252	26.6%	0	0.0%
16	大型路線バス フライホイールリングギヤ不具合対策リコ-ル (04年9月15日・1222)	2,052 ('00年5月18日~'04年5月14日)	2,052	—	—	0	0.0%
17	大型トラック 消音器(箱型マフラー)不具合対策リコ-ル (04年9月15日・1223)	739 ('00年3月9日~'03年1月12日)	724	247	34.1%	0	0.0%
18	ファイター 自動変速機搭載車 不具合対策リコ-ル (04年9月15日・1224)	1,771 ('92年9月16日~'03年1月15日)	1,456	272	18.7%	0	0.0%

・()内数値は、9月11日時点の数値を示す。

3. 47案件以外の届出項目の実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数 (04年7月末現在)	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型バス リヤブレ-キホ-ス不具合対策リコ-ル (04年6月15日・1110)	620 ('00年6月28日~'02年3月7日)	607	—	—	475 (463)	78.3% (76.3%)
2	CNG車 レギュレータガス漏れ不具合対策リコ-ル (04年8月4日・1195)	1,124 ('01年9月5日~'04年2月17日)	1,078	—	—	263 (217)	24.4% (20.1%)
3	ファイター リヤ ブレーキホイールシリンダーサービスキャンペーン (04年9月10日)	182 ('02年3月8日~'02年4月2日)	182	—	—	0	0.0%

・()内数値は、9月11日時点の数値を示す。

4. 緊急点検・無料点検の実施状況

緊急点検・無料点検(04年7月1日開始)	緊急点検実施台数	無料点検実施台数
		202,251(188,570)

・()内数値は、9月11日時点の数値を示す。

2004.9.22

6/14以降の事故案件について

: 網掛け部分が前回会見に対して追加・変更した箇所を示す。

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
14日11時	香川県坂出市 瀬戸中央自動車道	F K515J 87年12月登録	済	瀬戸中央自動車道走行中、左側壁に衝突し弾みで中央分離帯へ衝突、更に左側壁に衝突しながら200m走行して停止。 ・ステアリング系は引っかかり、渋りなく作動はスムーズであり、正常と判断。 ・ブレーキ系も作動テストにて異常なく、したがって、車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー死亡 同乗者骨折	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
15日20時	中央道 長野県座光寺PA	FU517TX 00年4月登録	済	中央自動車道下り走行中、松川IC先下り坂でブレーキを使用したところ、ブレーキ警報ランプ点灯とブザーが吹鳴。デッド軸左側の内側の部分から出火。 ・デッド軸左側のみベアリング廻りに錆有り、水浸入の痕跡有り。 ・他の車輪は全てきれいであり、水浸入の痕跡なし。 ・デッド軸ハブベアリング焼き付のリコールに該当する可能性有り。	なし	47案件 (No.10) に該当	電気系統のリコール対象 (00年8月対策済み)
18日02時	愛媛県伊予市	FU416U 90年5月登録	済	左前輪付近から出火、キャブ全焼。 ・フロント及びデッド軸のブレーキ引きずりが発生。 ・エアマスター作動テストの結果、作動は正常。 ・ブレーキ液に鉱物油が混入しておりエアマスター内のバルブシートが膨潤しブレーキ液の戻りが悪くなり、残圧が発生し、引きずり状態になったと推定。鉱物油の混入の時期、状況等については特定できず。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2002年7月Fハブ交換済) リアハブ04年5月24日車検時、亀裂点検済み(亀裂なし) リアハブは未交換。
18日04時	広島県安佐南区 山陽自動車道	(追突車) FU410TZ 95年7月登録	済	前車に衝突し、運転手社外投げ出され死亡。事故後衝突車は約2キロ 無人のまま走行し、横転して停車。 ・現車は追突の衝撃によりアクセルペダルが引っ掛かった状態のままとなったため、衝突後もそのまま走行したものと推定。 ・エンジンECUと電気回路は損傷なし。車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー死亡	当社調査結果から関連性は認められません。	被追突車はフロントハブリコール対象 デッド軸ハブベアリング緊急点検対象 (2004年5月点検実施済)
21日04時	愛知県豊橋市	FP411D 94年9月登録	済	中央分離帯を乗り越え、対向車線を横切り、ガードレールを突き破り道路外の用水路に転落。 ・クラッチハウジングについても亀裂なく、プロペラシャフトも破損なし。 ・ハブ破損なく、問題なし。車両として正常であると推定。	ドライバー死亡	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年2月Fハブ交換済) クラッチハウジングリコール対象
21日22時	佐賀県神埼町 長崎自動車道 東そのぎインター 手前バス停	FU410U 96年3月登録	済	ドライブ軸左内側、右内側から発火し、消防により消火。 ・フロントハブ異常なし。ドライブ軸ハブベアリング正常。ブレーキのひきずりなく、ブレーキは正常。 ・左ドライブ軸のインナタイヤのワイヤが露出し、タイヤバーストしたと思われる痕跡有り。 ・タイヤバーストによりウィング用オイル配管を破損させ、漏れたオイルに引火したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年5月Fハブ交換済)
23日22時	福岡県久留米市 宮の陣 九州自動車道	FU410TZ改 95年9月登録	済	走行中右後輪から出火、30分後に消火。 ・デッド軸右側のアウターベアリング焼き付き破損。目視では目立った錆は無し。 ・ブレーキライン下側焼け大(後軸芯ずれのため)。他のリア3輪とも、ロックナットに緩み有り。 ・後軸4輪のグリスの調査完了、ベアリングは調査中。 ・不具合発生部位以外の3輪のグリスは、使用に適さない性状である。(除く後々軸左アウターベアリング部) ・不具合部位のグリスは、熱や消火作業時の放水の影響を受けていると思われる。	なし	関連性については精査中(警察調査結果待ち)	
23日10時	千葉県野田市 県道7号線	FE50EB 00年12月登録	済	前方車両が急停止したため、ブレーキを踏んだが止まらず、踏み直したが停車できず、追突。 ・制動力異常無し。ABS装置も診断結果エラー無く問題無し。 ・車両として正常であり問題無いと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	ABSプログラム改善対策対象 (2002年3月措置済)
24日10時	和歌山県 阪和道 御坊～南部	FE435E 93年9月登録	済	走行中エンジン吹きが悪くなり、3km走行後非常駐車帯に停車して状況確認したところセルモーター付近の配線から発煙。若干焦げた程度。 ・エンジン左側ブロックより第4気筒目のコンロッド突き出し。 ・エンジンオイルの残量が異常に少なく、更に、エンジン周りに多量のオイル漏れが発生していることから、オイル不足からベアリング焼き付き、コンロッド破損に至ったと思われる。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
7/5日18時	群馬県藤岡市 関越自動車道 (藤岡JCT付近)	BE459F 95年8月登録	済	車体から白煙が見えたので停車、エンジンルームから炎が出ていたので、消火器で消火を試みるも全焼。 ・スターターは連続通電による内部過熱の形跡なし。キースイッチリコールとの関連性は少ない。 ・エンジンルーム内は全焼しているが、左側の焼損が激しい。ただし左側には樹脂類の可燃物が多く延焼したものが、火元かの判別は困難である。 ・燃料パイプ、噴射ホーン噴射管に亀裂なく、これらからの燃料漏れの可能性はない。オルタネーターは県警が調査中。	なし	関連性については精査中(警察調査結果待ち)	スターターキースイッチリコール対象 (2003年6月措置済)
7/7日14時	埼玉県加須市 東北自動車道下り 加須IC先約3km	FE437EV 90年8月登録	済	走行中、突然ホーンが鳴りっ放し。ブレーキも効かず、キャブ下から煙。 車両を路側に停めるとキャブ炎上。消防車出動し消火するが、キャブ、エンジン、ボディ全焼。 ・エンジン左側ブロックより第4気筒目のコンロッド突き出し。エンジンオイル残量なし。 ・潤滑不良によるエンジン焼き付きと思われる。オイル管理状況についてはユーザーから警察および販社に整備記録を連絡。(直近のオイル交換記録は04年5月20日)	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
7/14日20時	山口県 中国自動車道上り 美弥インター付近	FV415JR 93年5月登録	済	プロペラシャフトが脱落。後続車が脱落したプロペラシャフトにタイヤを擦ったが、事故にならず。 ・クラッチハウジング、トランスミッションケースに亀裂はなし。 ・フランジヨークのボルト穴部から破断している。現在プロペラシャフトの破断面調査中。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象
7/18日16時	長崎県嬉野町 長崎自動車道下り 嬉野IC付近	BE632G 98年11月登録	済	走行中、エンジン付近から発煙、路肩に停車した。このあと出火し、エンジンルーム内が焼損している。 ・エンジンルーム内の上部が焼損、エンジンオイル洩れが激しい。 ・形跡から見て古くからの洩れ。ロッカーシャフトが折損。 ・科捜研が7/27車体から降ろしたエンジンを再見分した。 ・エンジン分解調査中。	なし	関連性不明	スターターキースイッチリコール対象 (2002年4月 措置済)
7/21日9時	北海道登別市 豊浦町 国道36号線	FP415DR 90年4月登録	済	走行中、異臭とキャブバック付近から煙が上がった。トレーに積載の古紙に延焼し、全焼。 ・クラッチハウジング、トランスミッションケースに亀裂はなし。 ・焼損はキャブ後部のみでエンジンは燃えていない。エンジン後部ターボチャージャー出口吸気パイプが溶損。 当該部付近に配策されているゴム製燃料ホース(定期交換部品)が焼損紛失していることから、 何らかの原因で、ホースから洩れた燃料がターボチャージャーの熱で着火、延焼したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2004年6月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 (2004年6月 措置済)
7/25日9時	島根県安来市 山陰自動車道 安来IC付近	MS821P 94年6月登録	済	走行中、左後輪タイヤ付近から発火。内側タイヤの車両内側面が焼損している。 ・ブレーキが引きずった形跡あり。タイヤが焼損、ハーストしている。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年7月 措置済)
7/28日4時	福岡県北九州市 都市高速4号線 紫川IC付近	FV514H 98年2月登録	済	トランスミッションとデフ間のプロペラシャフトがデフ側で破損し脱落。 ・インクデフのコハニオンフランジ締付けネジの根元破断し、プロペラシャフト脱落したと推定。 ・ネジの根元部の破損は谷部全周を起点とした疲労破壊。継続調査中。	2名通院(8/下) 1人は首肩の痛み 1人は腰痛・打撲 2名とも外傷無し	47案件(No.24)に該当する 可能性があり調査中	キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済)
7/29日5時	福島県会津坂下町 磐越自動車道上り	FV411T 94年3月登録	済	トランスミッションとデフ間のプロペラシャフト3本が脱落。 ・フライホイールハウジングが亀裂。フライホイールハウジング取り付けボルト6本脱落、6本緩みあり。 クラッチハウジング取り付けボルトも下部2本緩み(トルコ)。ボルト緩みによりフライホイールハウジングが二次的に亀裂した ものか、二次的に亀裂したものが、今後、整備記録録含め原因調査中。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年5月 措置済) クラッチハウジングリコール対象
7/29日18時	大阪府東大阪市 市道	MS821P 94年5月登録	済	走行中、右後輪付近から発煙、発火。乗客が消火器で消火。内側タイヤが焼損。 ・現車を調査した結果、タイヤがハースト、焼損しており、後輪ブレーキが引きずった形跡がある。 但し、再現試験でもブレーキ引きずりは再現せず、戻りも良好。チャンホも異常なし。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年6月 措置済)
7/31日朝	秋田県横手市	FV511TZ 98年3月登録	済	タンデム間プロペラシャフトが脱落。車両横転し、ドライバーが怪我をして病院に搬送。 ・積荷は産業廃棄物で36%過積載、高荷状態であり、旋回時ロール易く、車速超過による操作ミスで横転と推定。 ・横転による2次不具合として、プロペラシャフト脱落したかと思われる。(ドライバーはシートベルト未装着)	なし	関連性については 精査中	キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済)
7/31日14時	大分県中津市	FS419TZ 94年3月登録	済	走行中にエンジンが急に噴き上がり、路肩に停車させ、キャブチルトし、噴射ホンのアクセルリヤを引くもエンジン停止 せず。その間マフラー過熱し、マフラー廻りから出火しリヤタイヤ、ハッチェリ、タンクなどを焼損。 ・噴射ホンの分解調査実施。コントロールラックがガバナ側1気筒目の溝部底を起点として疲労破壊している。 コントロールラックの折損により噴射ホンが制御不能となりエンジンが吹き上がったものと推定。 現品は過去にSS店で修理を行っておりその内容を確認中。DPFマフラー調査完9/未。	なし	47案件(No.32)に該当する 可能性があり調査中	フロントハブリコール対象 (2004年6月 暫定点検済み) タンデムプロペラシャフトリコール対象 リヤプロペラシャフトリコール対象 (プロペラシャフトはいずれも未実施)
8/1日19時	富山県入善町 国道8号線	FU510UZ 99年9月登録	済	走行中、異音が出たため路肩に停車したところ左前輪から出火していた。その後運転席部分などを焼いて鎮火。 ・左前輪アタヘアリングが破損し、ブレーキひきずり発火したものと推定。 ・フロントハブアリングおよび関連部品を調査中。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済)
8/8日20時	島根県松江市 国道9号線	MS821P 94年6月登録	済	7月25日タイヤ焼損した車両に対し、ブレーキ関連部品を新品に交換した。しかし再度左後輪がひきずり発煙した。 ・現車の左後輪にライニング焼けを確認した。定置では今回もブレーキひきずりを再現できず。チャンホも異常なし。 ・新品部品に交換したが再発したため、車両引取り、7/29発生の大阪の車両とともに実車再現試験を実施。 ・1台(大阪)の車両で走行時リヤブレーキの引きずりを再現。ブレーキのエアラインに残圧が発生。もう1台(松江)の車両 は、実走行では再現せず。ただし、2台とも定置でブレーキ配管系を加温すると残圧が発生することを確認。 ・原因について調査中。9/未完了予定。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年7月 措置済)
8/11日14時	長崎県佐世保市 西九州道 大塔IC出口市道	FP445D 94年9月登録	済	車両全焼。トレー一部焼損。詳細は不明。 ・キャブ後部の焼損が激しく、原因については県警捜査中。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	フロントハブリコール対象 (2004年4月 措置済) クラッチハウジングリコール対象
8/26日3時	広島県東広島市 山陽道下り 西条IC手前	FU54JUJ 03年9月登録	済	後前軸(駆動軸)左内側タイヤの内側付近から出火。車載の消火器で消火。 駆動軸Vロッド上部のボールジョイント抜けが発生している。駆動軸が右へずれている。 ・後前軸(駆動軸)左側のショックアブソーバーの表面に亀裂あり、作動油が洩れてほとんど残っていない。 ・駆動軸のVロッドのボールジョイントが抜け出して、車軸の左右方向の拘束がなくなっている。 ショックアブソーバーの亀裂はブレーキドラム及びタイヤホイールと干渉したためと推定。	なし	関連性不明	該当なし

発生日時	場所	車両	スクランプル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
9/9日16時	徳島県板野町 高松道上り	FV415J 84年10月登録	済 (9/17日)	プロペラシャフトが外れて走行不能になった。2次的被害なし。クラッチハウジングに亀裂なし。トランスミッション・メインシャフトが折損、エクステンションハウジングが破断し脱落。ドレンプラグが脱落。 ・トランスミッション・エクステンションハウジング側のドレンプラグが脱落し、内部にオイルは残っていない。 ・オイル不足によりヘアリング等に焼き付きが発生しキャがロック状態となり、メインシャフト破断 エクステンションハウジング破断 プロペラシャフト振られ プロペラシャフトのトランスミッション側ジョイント部破損 部品脱落に至ったものと推定。 ・事故現場付近の路面にはオイルの痕は見られなかったとのことなので、事故直前に抜けたのではなくもっと前からなかったと思われる。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象
9/10日18時	群馬県松井田町 上信越道下り	FS510VZ 98年6月登録	済 (9/16日)	走行中エンジン付近から異音発生、路肩に寄せたところでエンジン停止して停車。その後出火し全焼。 ・エンジン左側ブロックより第4気筒目のコックピットが飛び出し穴があいている。エンジンオイルの残量なし。破損し高温になったエンジン内部の金属片によりオイルが発火しエンジンブロックにあいた穴から噴出、延焼したものと推定。 ・潤滑不良によるエンジン焼付きと思われるがエンジン回収し詳細調査する。オイルメンテナンス状況も確認する。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	シャシハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済) タンデムプロペラシャフトリコール対象 (2003年7月 措置済) リヤプロペラシャフトリコール対象 (2003年9月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象
9/11日14時	神奈川県川崎市 国道409号線	FN622K 98年12月登録	済 (9/17日)	4台(当該車両を含む)の玉突き事故。運転手がブレーキが効かなかったと証言。 ・ブレーキ系配管からのエア漏れ、ブレーキ液漏れなし。ブレーキ低圧警報ワザ機能は正常。 制動力をテスターで計測したが検査基準には合格。 ・警察が捜査継続中。	あり 4台中2台(2名) 1名鞭打ちで 通院中 他1名は通院1回	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	キャブフック曲がり不具合リコール対象 キャブチルト警告灯不具合改善対策対象
9/14日3時	島根県益田市 国道191号線	FU510UZ 97年7月登録	済 (9/17日)	走行中異臭がして、しばらくすると灯火系が消えたため停車した。下車して確認したところ左側ヘッドライトとフロントバンパの間の奥に炎が見えた。キャブ全焼。 ・車両前まわりの配線3ヶ所にショート痕あり。最初に炎が見えた位置近くの配線を調査する。	なし	関連性不明	シャシハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象

大型車クラッチハウジングリコール届出以降の重要不具合(破断発生状況)

2004.9.22

資料5

No	シャシ	発生日	走行	調査品			路上故障	人身 物損 事故	商連書情報	発生場所
				返却日	現品有無	返却品				
1	FV419J	040602	598,293	6/21	7/1廃却	C/L Hsg	有り (全周亀裂)	無し	高速道走行中、異音発生と共に走行不能となり停止。レッカーにて入庫。クラッチハウジング亀裂、ペラ脱落、燃料タンク及びその他周辺破損。	東京都首都高速駒形インター付近
2	FV419PZ	040609	474,952	6/16	有り	C/L Hsg	有り (全周亀裂)	無し	走行中、振動大との訴え有り、作業現場へ出張点検結果、クラッチハウジングに亀裂を確認。レッカーで入庫。	静岡県小笠郡大東町の作業現場
3	FV419J	040529	623,573	6/11	有り	T/M Assy	有り (全周亀裂)	無し	走行中大きな音と激しい振動発生、走行不能となりそのまま惰性で走行、道の駅に入場。車体下確認したところ、クラッチハウジング破損しT/Mぶら下がっており、プロペラシャフト脱落し付いていない。レッカーにて工場搬入。	静岡県国道1号バイパス新富士川橋
4	FV411J	040624	910,475	7/7	有り	T/M Assy ペラ等	有り (全周亀裂)	無し	走行中T/Mのケースが破断し、脱落しそうになっているとの連絡有り。レッカー業者にて工場入場。T/Mケースがクラッチハウジング後部で破断し、輪切り状態になっている。プロペラシャフトヨークが抜け落ちて無くなっている。	埼玉県大宮バイパス宮前町付近
5	FP411D	040529	935,564	8月18日	有り	T/M Assy	有り (約6/7周)	無し	高速道IC出口にて、T/M不良にてシフト不能、オイル漏れで動けない為レッカーにて入庫。T/Mケース前部に亀裂が入り、オイル漏れを起こしていた。	京都府名神高速京都南IC付近
6	FV419RZ	040603	414685以上 (メータ交換歴有)	ユーザ持ち帰り 現品入手不可				無し	クラッチ踏み代変化し、2速・3速へのギアシフト硬い。走行中のシフトダウンが出来ない。高速走行時、焼けた様なにおいがした為クラッチディスクの残量点検して欲しい。以上の申し出にて工場入庫。クラッチハウジング左上部約1/3を残して円周状に割れていた。クラッチハウジング取付ボルトは4本脱落。	滋賀県京滋ふ栗東工場へ入庫
7	FW429M	040611	239,495	7/13	有り	C/L Hsg	有り (全周亀裂)	無し	異音発生。走行中止。クラッチハウジングに亀裂発生し、自走にて修理工場入場	北海道中標津付近
8	FP414D	040704	638,575	7/29	有り	T/M Assy ペラ	有り (約6/7周)	無し	西名阪自動車道を走行中シフトチェンジしたところガキッと異音発生しプロペラシャフト脱落、T/Mオイルが洩れていた。T/Mケースのクラッチハウジング接合面で亀裂。	奈良県西名阪道、法隆寺IC付近
9	FV416P	040710	275,358	7/20	有り	T/M Assy F/W Hsg ペラ等	有り (全周亀裂)	無し	高速道走行中、突然出力が落ち(N01ペラが約400m後方に有り)、直後チェンジレバーが大きく振れダウンと音がした為、惰力でバス停に車を止めた。レッカー搬入。N01ペラシャフトジョイント破損脱落。スライダに焼付き見られず(前後共)。クラッチハウジング全周より亀裂。T/M前側は残り、後側は地面に落下。引き摺って走行。燃料タンク一部ペラにて損傷。	熊本県九州自動車道下り(熊本～益城)
10	FV416P	040527	1,154,468	7/19	有り	C/L Hsg F/W Hsg	有り (全周亀裂)	無し	クラッチフィーリング不良、シフト時ギア鳴りの申し出あり。クラッチハウジング亀裂を確認。亀裂はクラッチハウジングの下側半周に及んでいる。	福島県の販社に点検入庫
11	FV419T	040609	422,724	7/12	有り	C/L,インジ ン,ペラ部品	有り (左80mm)	無し	走行中異音と振動で停車し、点検、ハウジング亀裂有りとの連絡有り。レッカー入庫。T/M Assy脱着内部点検。プロペラシャフトスライダ損傷にて走行不能。	茨城県八千代町
12	FN428T	040720	1,131,329	8月18日	有り	C/L Hsg, C/L,ペラ 等	有り (全周亀裂)	無し	保土ヶ谷バイパスを走行中に、T/M付近から異音発生、路肩に停車し点検した所、T/Mが傾いていた。レッカーにて工場入庫。クラッチハウジング全周にわたって亀裂が入っていたため、プロペラシャフトがT/M継手部で破損し脱落したが、T/Mは脱落していなかった。周辺機器への損害はなし。	神奈川県内の販社に入庫
13	FV419J	040721	470,050	販売会社の手違いにより販売会社にて廃却				無し	走行時車体振動が酷いとの申し出にて各部点検実施。クラッチハウジングが約3/4周にわたり亀裂発生。メインシャフトロックナットに弛み確認。	神奈川県内の販社に入庫
14	FV415J	040715	609,350	7/30	有り	C/L Hsg	有り (左660mm, 右150mm)	無し	クラッチが切れない為レッカーにて搬入。クラッチハウジング取付ボルト全数緩み。クラッチハウジング左側に輪状亀裂40mm程度を確認。	沖縄県

注1. 太枠は、9月15日報告済の項目を示す。